

28年12月分

製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年12月1日～ 28年12月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
12月分の回答企業数は6社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/12月	29/1月	29/2月
入荷動向	国産材製材品	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7
	外材製材品	△ 8.3	△ 16.7	△ 8.3
	その他	0.0	0.0	0.0
販売動向	国産材製材品	8.3	16.7	16.7
	外材製材品	0.0	0.0	0.0
	その他	10.0	0.0	0.0
在庫動向	国産材製材品	△ 8.3	△ 8.3	△ 16.7
	外材製材品	8.3	△ 8.3	△ 8.3
	その他	0.0	0.0	0.0

・製品市場への国産材及び外材製材品の入荷は3ヵ月連続して減少。その他は3ヵ月連続して横ばい。

・国産材製材品の販売は3ヵ月連続して増加。外材は3ヵ月連続して横ばい。その他は10月の増加が、1月、2月は横ばい。

・国産材製材品の在庫は3ヵ月連続して減少。外材は12月のやや増加から1月、2月は減少。その他は3ヵ月連続して横ばい。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		28/12月	29/1月	29/2月
スギ	柱角 KD10.5×3	10.0	10.0	0.0
	柱角 KD12×3	0.0	0.0	0.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	0.0	0.0	0.0
	母屋角	10.0	0.0	0.0
	タルキ	0.0	0.0	0.0
	間柱	0.0	0.0	0.0
	加工板	0.0	0.0	0.0
	ヌキ	10.0	0.0	0.0
	平割	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	37.5	25.0	25.0
	柱角 KD12×3	25.0	12.5	25.0
	土台角 10.5×4	30.0	20.0	20.0
	土台角 12×4	30.0	10.0	20.0
	通し柱 12×6	20.0	10.0	10.0
カラマツ土台角10.5×4	0.0	0.0	0.0	
米マツ平角	0.0	10.0	10.0	
米マツ割物	0.0	12.5	12.5	
北洋エゾマツタルキ	0.0	25.0	25.0	
北洋アカマツタルキ	0.0	12.5	12.5	

・スギ製材品の価格は、柱角KD10.5cm、母屋角及びヌキがやや強保合だが、それ以外は総じて保合。

・ヒノキ製材品は、品薄により総じて強含みで推移。

・カラマツ土台角は3ヵ月連続して横ばい。

・米マツ平角及び割物は12月の横ばいが、1月、2月はやや強含み。

・北洋エゾマツタルキ及び北洋アカマツタルキは12月の横ばいが、1月、2月はやや強含み。

モニターからのコメント

(荷動き)

- ・国産材の入荷順調。WW4m物少ない。アカマツ4mS,Pグレード入荷減少。スギの防音材に動きあり。フルプレカットが多くなり動き悪い。在庫は1月に記念市あり全体の増加（関東）。
- ・11,12月は素材減により、製品入荷も減少見込み。若干需要の手ごたえあり、年内は好調に推移か（中部）。
- ・スギ、ヒノキ等の国産材の入荷、米材、北洋材の入荷共に横ばい。販売量微増も先取感強く、入荷に慎重な姿勢。1月以降の販売動向が見えづらい。在庫は減少した（中部）。
- ・ヒノキの原木不足により入荷量が減少（関西）。

(価格動向)

- ・スギ柱角（KD10.5cm）58,000円/m³、（KD12.0cm）60,000円/m³、スギ桁角（東北グリーン材）40,000円/m³、母屋角（東北材）40,000円/m³、スギタルキ（東北材）45,000円/m³、スギ間柱（KD）60,000円/m³、スギ加工板（グリーン材）束2,800円、（KD）束4,800円、スギヌキ（東北）40,000円/m³、（秋田）50,000円/m³、スギ平割（プレーナー）45,000円/m³、同（ラフ）43,000円/m³、ヒノキ柱角（KD）・土台角10.5cm 80,000円/m³、ヒノキ土台角12.0cm 80,000円/m³、米マツ平角 KD65,000円/m³、米マツ割物AD 65,000円/m³、北洋アカマツタルキ（アSEMBル単価）（S）70,000円/m³、（P）58,000円/m³、（バンドル単価）（S）65,000円/m³、（P）55,000円/m³（関東）。
- ・地域的にスギ構造材の需要は少ない。ヒノキ10.5cm角主体に柱、土台が品薄にて若干値上がり気配（中部）。
- ・スギ構造材価格は現状維持、春先まで現状維持か。造作材価格も変動なし。ヒノキ正角は原木相場が高いと聞くが、製品価格に転嫁されない。土台角は九州材の在庫が少ない。全体的に相場価格は変わらず。米マツは横ばい。コストの上昇が重荷になっており、新規の購入は控えている。北洋エゾマツタルキ及び北洋アカマツタルキは、現地価格の上昇に伴い、販売価格も値上げしたいところ（中部）。
- ・ヒノキ原木不足で価格上昇（関西）。